

2013年教育第1問

1 次の  にあてはまる数または数式を記入せよ。

(1)  $a, b$  は定数で,  $x$  についての整式  $x^3 + ax + b$  は  $(x+1)^2$  で割り切れるとする. このとき,  $a = \text{}$ ,  $b = \text{}$  である. -2 -3

(2) 5個の自然数の組  $(a_1, a_2, a_3, a_4, a_5)$  で,

$$a_1 = 1, \quad a_n + 1 \leq a_{n+1} \leq a_n + 2 \quad (n = 1, 2, 3, 4)$$

を満たすものは全部で 16 組ある.

(3) 3次関数  $f(x)$  は  $x = 1$  と  $x = 2$  で極値をとり, 曲線  $y = f(x)$  と曲線  $y = \frac{3x}{2\sqrt{x^2+1}} + 1$  は点  $(0, 1)$  において共通の接線を持つとする. このとき,  $f(x) = \text{}$  である.

(4) ある花の1個の球根が1年後に3個, 2個, 1個, 0個(消滅)になる確率はそれぞれ  $\frac{3}{10}, \frac{2}{5}, \frac{1}{5}, \frac{1}{10}$  であるとする. 1個の球根が2年後に2個になっている確率は  である.

(1) 
$$\begin{array}{r} x-2 \\ x^2+2x+1 \overline{) x^3+ax+b} \\ \underline{x^3+2x^2+x} \phantom{+b} \\ -2x^2+(a-1)x+b \\ \underline{-2x^2-4x-2} \\ (a+3)x+b+2 \end{array} \quad \therefore a = -3, b = -2$$

(2)  $a_1 = 1$  より,  $2 \leq a_2 \leq 3 \quad \therefore a_2$  の決め方は 2通り

$a_2 + 1 \leq a_3 \leq a_2 + 2 \quad \therefore a_3$  の決め方は 2通り

同様に  $a_4, a_5$  の決め方がそれぞれ 2通り  $\therefore 2^4 = 16$  組

(3)  $f(x)$  が  $x = 1, 2$  で極値をとり, 3次関数であることから,

$f(x) = a(x-1)(x-2)$  とおける ( $a$  は定数)

$g(x) = \frac{3x}{2\sqrt{x^2+1}} + 1$  とおくと,  $g'(x) = \frac{3}{2} \cdot \frac{\sqrt{x^2+1} - x \cdot \frac{1}{\sqrt{x^2+1}}}{x^2+1} \cdot \frac{2x}{2} = \frac{3}{2(x^2+1)\sqrt{x^2+1}}$

$\therefore f'(0) = g'(0)$  より,  $2a = \frac{3}{2} \quad \therefore a = \frac{3}{4} \quad \therefore f(x) = \frac{3}{4} \left( \frac{x^3}{3} - \frac{3}{2}x^2 + 2x \right) + C$

$f(0) = 1$  より,  $C = 1 \quad \therefore f(x) = \frac{1}{4}x^3 - \frac{9}{8}x^2 + \frac{3}{2}x + 1$

(4)のつづき

$$\begin{aligned} & \frac{18}{5000} + \frac{9}{2500} + \frac{8}{250} + \frac{2}{125} + \frac{2}{25} \\ &= \frac{9+9+80+40+200}{2500} \\ &= \frac{338}{2500} \\ &= \frac{169}{1250} \end{aligned}$$

